

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
特別研究報告書
加熱式たばこ使用者を対象としたインターネット調査（定量調査）

研究協力者 田極 春美 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員

研究要旨

本研究の目的は、近年流行が顕著な加熱式たばこについて、加熱式たばこ使用の動機、広告の影響も含め使用に至ったきっかけ、加熱式たばこのメリット・デメリット、禁煙ステージ・禁煙意向等を定性的及び定量的に把握し、今後の情報提供や禁煙支援の進め方を検討するための基礎資料を得ることである。

今年度は、昨年度のインタビュー調査（定性調査）に引き続き、全国の加熱式たばこ使用者を対象としたインターネット調査（定量調査）を実施した。調査は、対象者（6か月以上加熱式たばこを使用している、20～59歳の男女）を抽出するためのスクリーニング調査、対象者に対する本調査の2段階とした。スクリーニング調査では、喫煙状況や加熱式たばこ使用歴などを、本調査では、加熱式たばこ使用のきっかけや、使用した感想（メリット、デメリット）、禁煙意向、加熱式たばこに関する認識、広告の曝露状況等を調査した。

調査の結果、喫煙者の5人に2人が加熱式たばこを使用していること、特に20代の男性喫煙者では5割を超えており若い年齢層ほど加熱式たばこ使用者の割合が高く、加熱式たばこが若い年齢層を中心に普及していること、加熱式たばこ使用のきっかけは、加熱式たばこ使用者からの勧めや試し吸いなど実体験であり、ニオイが少ないこと、周囲の人への害が少ないこと、紙巻たばこより害が少ないこと等のメリットを感じていることが明らかとなった。また、こうした“メリット”を理由に紙巻たばこの併用者では従来喫煙できなかった家や車の中でも吸えるなど、加熱式たばこが喫煙機会を増やしている可能性があることが示唆された。加熱式たばこに関する正しい情報が喫煙者に十分に伝わっていないことも明らかとなっており、こうしたことが加熱式たばこ使用定着となる可能性も示唆された。

A. 研究の目的

近年流行が顕著な加熱式たばこについて、加熱式たばこ使用の動機、広告の影響も含め使用に至ったきっかけ、加熱式たばこのメリット・デメリット、禁煙ステージ・禁煙意向等を定性的及び定量的に把握し、今後の情報提供や禁煙支援の進め方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

B. 研究の方法

加熱式たばこの使用者の心理や認識等を詳細に把握するため、グループインタビューによる定性調査を昨年度実施した。今年度は、この定性調査で得られた知見や仮説を定量的に検証するため、インターネットによるアンケート調査（定量調査）を実施した。

調査対象者は、20～59歳の、加熱式たばこ（銘柄は問わない）の使用開始から6か月以上経過している喫煙者とした。調査客体数は、性別（男性／女性）2区分、年齢階級（20～29歳／30～39歳／40～49歳／50～59歳）4区分による8カテゴリを設定し、各カテゴリにつき100人程度、計800人程度とした。

調査は、インターネット調査会社のパネルを用い、対象者を抽出するための「スクリーニング調査」と、対象者に対する「本調査」の2段階で実施した。

①スクリーニング調査

スクリーニング調査は2段階で実施した。

まず、日本の人口構成比率に応じて、性別・年齢階級別に各カテゴリの対象者数を割り付け、イ

インターネット調査会社のパネル 39,000 人を対象に1次スクリーニングを実施した。この結果をもとに、全体、性別、年齢階級別の加熱式たばこ使用率を算出した。

次に、8 カテゴリの目標回収数を確保できるよう、カテゴリごとの想定出現率に基づき、最終的に 50,000 人を対象にスクリーニング調査を実施した。

スクリーニング調査では、たばこの喫煙状況、加熱式たばこの使用状況、紙巻たばこ・加熱式たばこの平均喫煙本数(カプセル数)、加熱式たばこの使用期間を把握した。

スクリーニング調査は、2018年4月13日～2018年4月16日に実施した。

②本調査

性別、年齢別に、加熱式たばこ使用の動機や広告の影響を含め使用に至るきっかけ、メリット・デメリット、禁煙意向等を把握するために本調査を実施した。

本調査は、20～59歳の、加熱式たばこ(銘柄は問わない)の使用開始から6か月以上経過している喫煙者を対象に、性別・年齢階級別の8カテゴリの各カテゴリにつき100人、計800人を目標回収数とした。

本調査は、2018年4月13日～2018年4月16日に実施し、本調査の趣旨と調査協力に同意した対象者824人から有効回答が得られた(各カテゴリについて目標サンプル数100名を確保できた時点で随時締切、同時刻回収を有効としたため、すべてのカテゴリで100を上回るサンプル数となった)。

なお、本研究ではインターネット調査の利点を活用し、選択肢の多い調査項目については、例えば最初のほうに表示される項目を回答者が選びやすいといったバイアスを排除するため、回答者ごとに、インターネット画面上に表示される選択肢の順番をランダムに変えるように設定した。

(倫理面への配慮)

本研究は、公益社団法人地域医療振興協会倫理審査委員会の承認を得た(承認年月日:2019年2月14日承認番号:20190214-1)。

C. 研究の結果

定量調査で得られた結果を、調査項目に沿って、①加熱式たばこ使用者の割合と使用期間、使用状況等、②加熱式たばこ使用者の基本属性、③喫煙状況、④加熱式たばこ使用のきっかけ、⑤使用した感想(メリット、デメリット)、⑥禁煙意向、⑦加熱式たばこに関する認識、⑧広告の曝露、⑨その他のそれぞれについて整理した。

なお、①と②はスクリーニング調査の結果から、③～⑨は本調査の結果から整理した。

本調査の結果については、性別×年齢階級別(8カテゴリ)に同数のサンプル数を設定しているため、8カテゴリ別の分析以外については、各カテゴリ別の加熱式たばこ使用者出現率をもとに補正を行った。

①加熱式たばこ使用者の割合と使用期間、使用状況等<スクリーニング調査結果>

20～59歳の39,000人に対するスクリーニング調査の結果、加熱式たばこ使用者は3,340人で全体の8.6%であった。全体に占める加熱式たばこの使用者の割合は、20～59歳の男性計の12.7%、20～59歳の女性計の4.4%であった。30～39歳の男性では15.7%(非喫煙者も含めた、30～39歳男性のおよそ6人に1人)と全カテゴリの中で割合が最も高く、次いで20～29歳の男性の13.9%、40～49歳の男性の12.1%となった。女性では20～29歳が5.3%で最も高く、50～59歳では喫煙者の割合は比較的高いものの加熱式たばこの使用者の割合は低かった。

次に喫煙者に占める加熱式たばこ使用者の割合をみると、全体では38.5%、男性では40.9%、女性では32.7%であった。特に20～29歳の男性では53.8%となっており、喫煙者の半数以上が加熱式たばこを使用している。男女ともに、年齢が若い層ほど加熱式たばこの使用割合が高い傾向がみ

られた（図表1）。

スクリーニング調査の結果、加熱式たばこ使用者は3,340人となったが、この3,340人の加熱式たばこ使用期間は、「6か月以上1年未満」が26.3%で最も多かった。加熱式たばこ使用者のおよそ7割が6か月以上の使用期間であった（図表2）。

また、加熱式たばこ使用者3,340人における紙巻たばこことの併用状況をみると、加熱式たばこ単独使用者が44.1%、紙巻たばこことの併用者が54.6%、その他（加熱式たばここと電子たばこことの併用者）が1.4%であった（図表3）。

②加熱式たばこ使用者の基本属性<スクリーニング調査結果>

20～59歳の加熱式たばこ使用者の性別をみると、男性が74.6%（およそ4分の3）、女性が25.4%（およそ4分の1）であった。年齢構成は、30～39歳が30.6%で最も多く、次いで40～49歳が28.1%、20～29歳が22.7%、50～59歳が18.7%であった。30～39歳の男性が加熱式たばこ使用者全体の23.3%を占め最も多い結果となった（図表4）。

紙巻たばこことの併用状況別に加熱式たばこ使用者の属性をみると、加熱式たばこ単独使用者（以下、「単独使用者」）では、紙巻たばこ併用者（以下、「併用者」）と比較して、女性の割合が相対的に高い。また、年齢をみると、単独使用者では併用者と比較して30～39歳の割合が相対的に高い（図表7、図表8）。

③喫煙状況

20～59歳の加熱式たばこ使用者824人（使用歴6か月以上）に対する本調査の結果、加熱式たばこ使用者のうち83.1%が「アイコス（IQOS）」を使用している（図表10）。

加熱式たばこを使用する前に98.2%が紙巻たばこを使用している（図表12）。

朝、目が覚めてから最初にたばこを吸うまでの時間については、単独使用者・併用者とで大きな差異はみられなかった（図表13）。

③加熱式たばこを使い始めた理由やきっかけ

加熱式たばこを使い始めた理由としては、「ニオイが少ないから」が63.1%で最も多く、次いで「周囲の人への害が少ないから」（50.5%）、「紙巻たばこより害が少ないから」（42.1%）、「煙が少ないから」（41.9%）といった理由が多く挙げられた。

単独使用者では併用者と比較して「ニオイが少ないから」が15.8ポイント、「紙巻たばこをやめるため」が18.3ポイント高かった。また、併用者では単独使用者と比較して「紙巻たばこの本数を減らすため」が32.5ポイント、「紙巻たばこが吸えないところでも吸えるから」が14.8ポイント高かった（図表14）。

加熱式たばこを使い始めた最大の理由としては、単独使用者、併用者ともに「ニオイが少ないから」が最も多く、特に単独使用者では併用者と比較して16.4ポイント高かった（図表15）。

加熱式たばこを習慣的に使い始めるまでに経験したこととしては、「加熱式たばこを使っている人からの勧め」が45.8%で最も多く、次いで「加熱式たばこの広告やパンフレットをみたり、読んだりしたこと」（30.1%）、「加熱式たばこを試しに吸ってみたこと」（27.0%）であった（図表16）。

加熱式たばこを使い始めたきっかけとしては、「加熱式たばこを使っている人からの勧め」が33.0%で最も多く、次いで「加熱式たばこを試しに吸ってみたこと」（12.9%）、「加熱式たばこの広告やパンフレットをみたり、読んだりしたこと」（11.4%）、「WebサイトやSNS等を用いた加熱式たばこに関する情報収集」（11.3%）であった（図表17）。

④使用した感想（メリット、デメリット）

加熱式たばこを使用して感じた加熱式たばこのメリットとしては、「たばこのニオイがなくなる」が57.9%で最も多く、次いで「灰が落ちて汚れない」（51.6%）、「家の中や車でも吸える」（42.1%）、「周囲の人への害が減る」（41.4%）であった。

単独使用者では併用者と比較して、「ゴミ箱にそ

のまま捨てられる」が 16.2 ポイント、「灰が落ちて汚れない」が 12.7 ポイント、「たばこのニオイがしなくなる」が 9.6 ポイント高かった。一方、併用者では単独使用者と比較して「周囲の人への害が減る」が 9.7 ポイント、「吸っても周囲の人下の害が減る」が 8.6 ポイント、「将来の病気になるリスクが減る」が 7.7 ポイント高かった(図表 18)。

加熱式たばこの最大のメリットとしては、「たばこのニオイがしなくなる」が 29.6%で最も多かった(図表 19)。

一方、加熱式たばこのデメリットとしては、「充電しないと使えない」が 52.9%で最も多く、次いで「本体が高額である」(42.1%)、「本体の故障が多い」(29.1%)、「本体とカートリッジなどの持ち物が多い」(28.1%)であった。

単独使用者では併用者と比較して多くの項目で割合が高かったが、併用者が単独使用者と比較して特に割合が高かったのは「物足りない」(21.4 ポイントの差)、「おいしくない」(8.3 ポイント)であった(図表 20)。

加熱式たばこの最大のデメリットとしては「本体が高額である」が 15.9%で最も多く、次いで「充電しないと使えない」(13.8%)、「物足りない」(12.6%)であった。特に併用者では「物足りない」が最も多かった(図表 21)。

⑤禁煙意向

加熱式たばこをやめることについての意向をみると、「やめるつもりはない」が 52.9%で最も多く、「関心はあるが今後 6 か月以内にやめようとは考えてない」が 33.4%であり、両者を合わせると 9 割近くとなった。単独使用者では併用者と比較して「やめるつもりはない」の割合が低く、「関心はあるが今後 6 か月以内にやめようとは考えてない」の割合が高かった(図表 22)。

次いで併用者に対して紙巻たばこをやめることについての意向を尋ねたところ、「1 か月以内に辞めようと考えている」が 9.0%、「今後 6 か月以内にやめようと考えている」が 18.7%、「関心はあるが今後 6 か月以内にやめようとは考えてない」が

35.7%、「やめるつもりはない」が 36.6%であった。

併用者については、紙巻たばこについては加熱式たばこと比較してやめようとする割合が高い結果となった(図表 23)。

⑥加熱式たばこに関する認識

加熱式たばこに関する認識を尋ねた結果、「全くその通りである」「その通りである」を合わせた割合が比較的高かったのは、「加熱式たばこは、紙巻たばこに比べて有害物質を 90%カットしている」(48.2%)、「加熱式たばこを使用している人は、自分の健康や周囲の健康に配慮できる進歩的な喫煙者である」(44.4%)であった。

全般的に、単独使用者のほうが併用者と比較して「全くその通りである」「その通りである」を合わせた割合が低かった(図表 24~図表 28)。

⑦広告の曝露

広告の曝露についてみると、「アイコスのはたばこの煙が出ない、部屋の空気を汚さない」といった内容の広告を見たことがあるかを尋ねたところ、「はい」が 62.5%、「いいえ」が 37.5%であり、特に併用者で「はい」の割合が高かった(図表 29)。

次に「アイコスは有害成分が少ない、紙巻タバコと比べて有害成分が約 90%カット」といった内容の広告を見たことがあるかを尋ねたところ、「はい」が 59.4%、「いいえ」が 40.6%であった(図表 30)。

たばこ会社の人から加熱式たばこの製品説明を受けたり、無料で試し吸いができる誘われた経験の有無をみると、「はい」が 34.4%、「いいえ」が 65.6%であり、特に併用者で割合が高かった(図表 31)。

⑧その他

紙巻たばこだけを吸っている場合と比べて、加熱式たばこを吸っていることでの優越感があるかを尋ねた結果、「はい」が 33.0%、「いいえ」が 67.0%であった。単独使用者と比較して併用者のほうが「はい」の割合が高かった(図表 36)。

D. 考察

本研究より、喫煙者の5人に2人が加熱式たばこを使用しており、特に20代など若い年齢層ほど加熱式たばこ使用者の割合が高いことが明らかとなった。

加熱式たばこを使用したきっかけとしては、加熱式たばこを使っている人からの勧めや、加熱式たばこの試し吸いなどの身近な口コミ情報や実体験を通じたものが多く、いわば喫煙者コミュニティを通じて加熱式たばこ使用が進んでいることが推察された。

加熱式たばこのメリットとしては、紙巻たばことは異なり、たばこのニオイがしなくなることや灰が落ちて汚れないことなどが上位を占めており、この結果、家の中や車の中でも吸えると考えている人も4割以上いることが明らかとなった。また、周囲の人への害が減ると考えている人も4割以上いた。結果的に、特に紙巻たばこの併用者に対しては、今まで吸えなかった場所でもたばこを吸えるようになり喫煙機会を増やしている可能性も示唆された。加熱式たばこ会社の中には、こうしたニオイや煙が少ないことなどを強調し販促活動を進めているところもあり、今後、こうした喫煙者の心理面を捉えた販促活動がより積極的に行われることが予想される。

本研究では、加熱式たばこ単独使用者と紙巻たばこの併用者として比較分析を行った。紙巻たばこ併用者では単独使用者と比較して、紙巻たばこ単独で吸っていた時よりも併用することで自身や周囲への健康リスクを軽減できていると考えている人が多く、加熱式たばこを「やめるつもりはない」という人が6割を占めていた。また、紙巻たばこ自体もやめるつもりはない人が4割を占めており、併用状況に定着してしまうことが推察された。

一方、単独使用者でも「やめるつもりはない」という人の割合は約45%と併用者と比較するとその割合は低いものの、「(加熱式たばこをやめることに) 関心はあるが今後6か月以内にやめよう

とは考えていない」という人が4割強となっており、両者を合わせると9割近くを占めている状況であった。

単独使用者、併用者ともに禁煙意向がある人は1割強であり、禁煙へのステップとして加熱式たばこを使用していると思われる人が一定程度いることが推察される。また、単独使用者では併用者と比較して禁煙関心期にある人の割合が高く、こうした層に対して加熱式たばこ使用が定着しないよう、禁煙につなげることが重要である。

「加熱式たばこは、紙巻たばこに比べて有害物質を90%カットしている」と考えている人はおよそ5割、「加熱式たばこは、紙巻たばこに比べて有害成分を90%カットしているので、病気になる危険性も90%減らすことができる」は約3割、「加熱式たばこには、タールが含まれていないので、がんにはならない」は約2割を占めていた。また、「どちらともいえない」も3割強から4割強となっており、こうしたことから、加熱式たばこについて正確な情報が加熱式たばこ使用者を含め国民に伝わっていない可能性が示唆された。

加熱式たばこ使用者が急速に増加していく中で、本調査で得られた知見をもとに、加熱式たばこ使用者の意識・禁煙意向等を継続的に定量的に把握し、禁煙推進・受動喫煙防止における加熱式たばこの位置づけを整理し、それぞれのターゲットごとに有効な禁煙支援の進め方について早急に検討を行うことが喫煙の課題である。

E. 結論

本研究は、使用歴が6か月以上の加熱式たばこ使用者における、加熱式たばこ使用のきっかけや、使用のメリット・デメリット、禁煙意向、加熱式たばこに関する認識、広告の曝露等、多岐にわたる内容を詳細かつ定量的に把握した研究である。

本研究の結果、20代、30代の若年者を中心に加熱式たばこ使用が進んでいること、紙巻たばこのニオイや灰などの問題を解決したことで、今まで吸えなかったところでもたばこを吸える機会ができたこと、喫煙による健康リスクが軽減したと

考え禁煙しようという意欲が減退している可能性があることも示唆された。

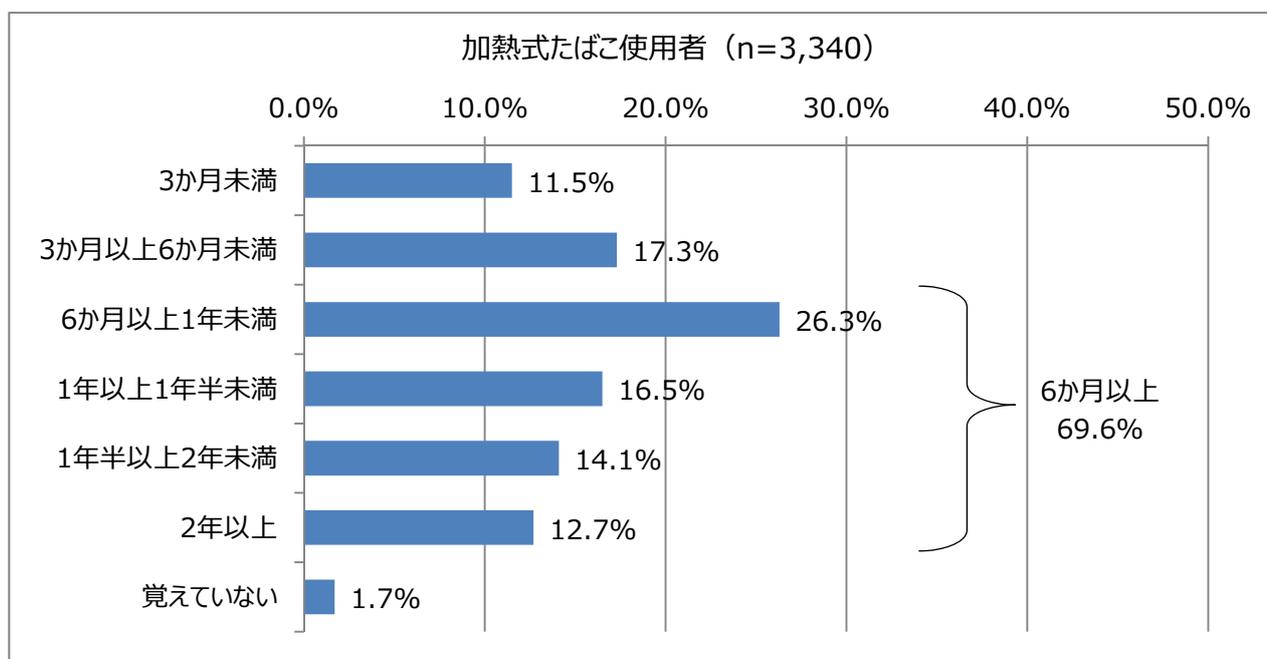
加熱式たばこが承認されている国は現時点では限られているが、今後、他の国でも加熱式たばこが承認・販売されていくことが見込まれる。

こうした観点で、先行して加熱式たばこが導入された我が国における加熱式たばこ使用者の実態・意識等を把握した本研究の成果は、わが国だけではなく諸外国においても、禁煙推進における加熱式たばこの位置づけや、禁煙推進・受動喫煙防止上の新たな課題とその対策等を検討する上で基礎資料といえる

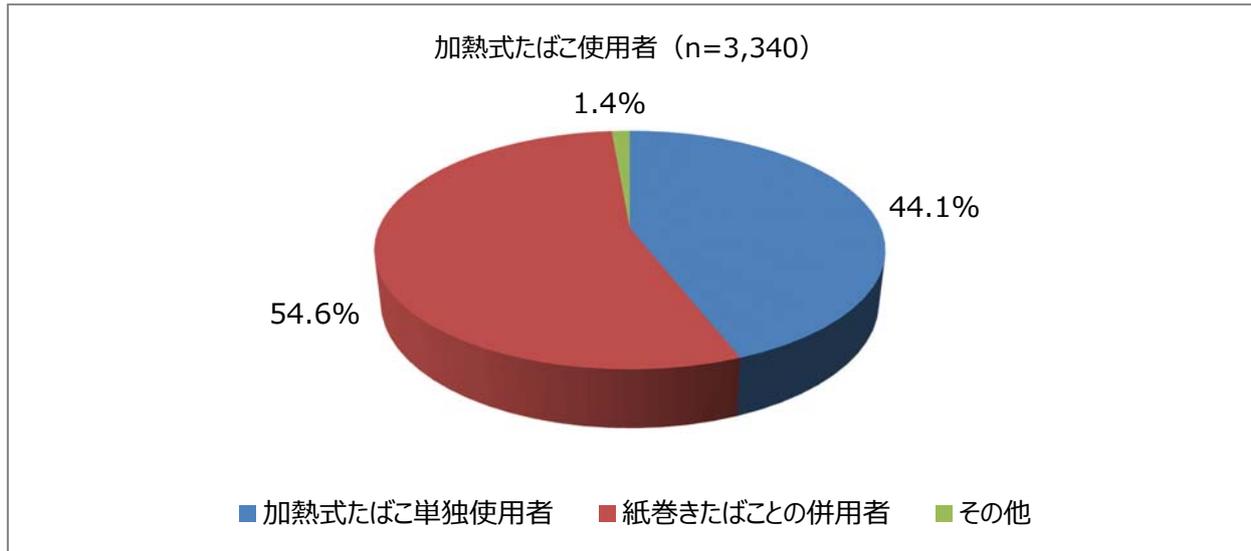
(単位:上段「人」)

	総数	加熱式たばこ使用者	内訳			加熱式たばこ非使用者の喫煙者	喫煙者計	非喫煙者	喫煙者に占める加熱式たばこ使用者の割合	
			単独使用者	併用者	その他					
全体	全体計	39,000 100.0%	3,340 8.6%	1,472 3.8%	1,822 4.7%	46 0.1%	5,342 13.7%	8,682 22.3%	30,318 77.7%	38.5%
	20～29歳	7,808 100.0%	758 9.7%	301 3.9%	439 5.6%	18 0.2%	725 9.3%	1,483 19.0%	6,325 81.0%	51.1%
	30～39歳	9,845 100.0%	1,022 10.4%	492 5.0%	522 5.3%	8 0.1%	1,213 12.3%	2,235 22.7%	7,610 77.3%	45.7%
	40～49歳	11,604 100.0%	937 8.1%	413 3.6%	507 4.4%	17 0.1%	1,807 15.6%	2,744 23.6%	8,860 76.4%	34.1%
	50～59歳	9,743 100.0%	623 6.4%	266 2.7%	354 3.6%	3 0.0%	1,597 16.4%	2,220 22.8%	7,523 77.2%	28.1%
男性	男性計	19,654 100.0%	2,492 12.7%	1,043 5.3%	1,414 7.2%	35 0.2%	3,600 18.3%	6,092 31.0%	13,562 69.0%	40.9%
	20～29歳	3,975 100.0%	553 13.9%	197 5.0%	346 8.7%	10 0.3%	475 11.9%	1,028 25.9%	2,947 74.1%	53.8%
	30～39歳	4,976 100.0%	779 15.7%	345 6.9%	427 8.6%	7 0.1%	847 17.0%	1,626 32.7%	3,350 67.3%	47.9%
	40～49歳	5,847 100.0%	708 12.1%	302 5.2%	391 6.7%	15 0.3%	1,181 20.2%	1,889 32.3%	3,958 67.7%	37.5%
	50～59歳	4,856 100.0%	452 9.3%	199 4.1%	250 5.1%	3 0.1%	1,097 22.6%	1,549 31.9%	3,307 68.1%	29.2%
女性	女性計	19,346 100.0%	848 4.4%	429 2.2%	408 2.1%	11 0.1%	1,742 9.0%	2,590 13.4%	16,756 86.6%	32.7%
	20～29歳	3,833 100.0%	205 5.3%	104 2.7%	93 2.4%	8 0.2%	250 6.5%	455 11.9%	3,378 88.1%	45.1%
	30～39歳	4,869 100.0%	243 5.0%	147 3.0%	95 2.0%	1 0.0%	366 7.5%	609 12.5%	4,260 87.5%	39.9%
	40～49歳	5,757 100.0%	229 4.0%	111 1.9%	116 2.0%	2 0.0%	626 10.9%	855 14.9%	4,902 85.1%	26.8%
	50～59歳	4,887 100.0%	171 3.5%	67 1.4%	104 2.1%	0 0.0%	500 10.2%	671 13.7%	4,216 86.3%	25.5%

図表1 喫煙率、喫煙者に占める加熱式たばこ使用者割合等<スクリーニング調査結果>



図表2 加熱式たばこの使用期間<スクリーニング調査結果>



図表3 加熱式たばこ使用者における紙巻たばことの併用状況<スクリーニング調査結果>

	男性		女性		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20～29歳	553	16.6%	205	6.1%	758	22.7%
30～39歳	779	23.3%	243	7.3%	1,022	30.6%
40～49歳	708	21.2%	229	6.9%	937	28.1%
50～59歳	452	13.5%	171	5.1%	623	18.7%
男性計	2,492	74.6%	848	25.4%	3,340	100.0%

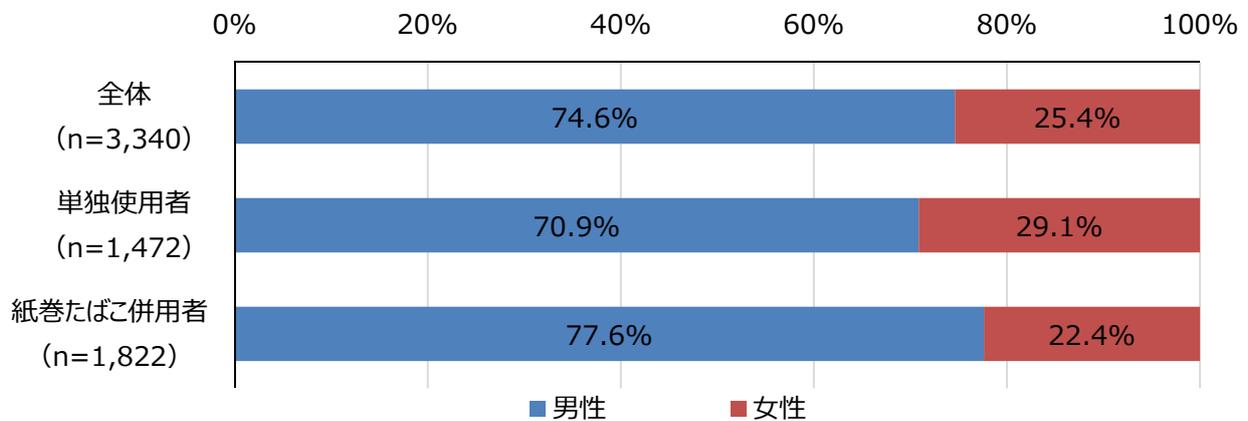
図表4 加熱式たばこ使用者の基本属性<スクリーニング調査結果>

	人数	割合
北海道	180	5.4%
東北	225	6.7%
関東	1,319	39.5%
中部	523	15.7%
近畿	565	16.9%
中国	164	4.9%
四国	83	2.5%
九州	281	8.4%
全体	3,340	100.0%

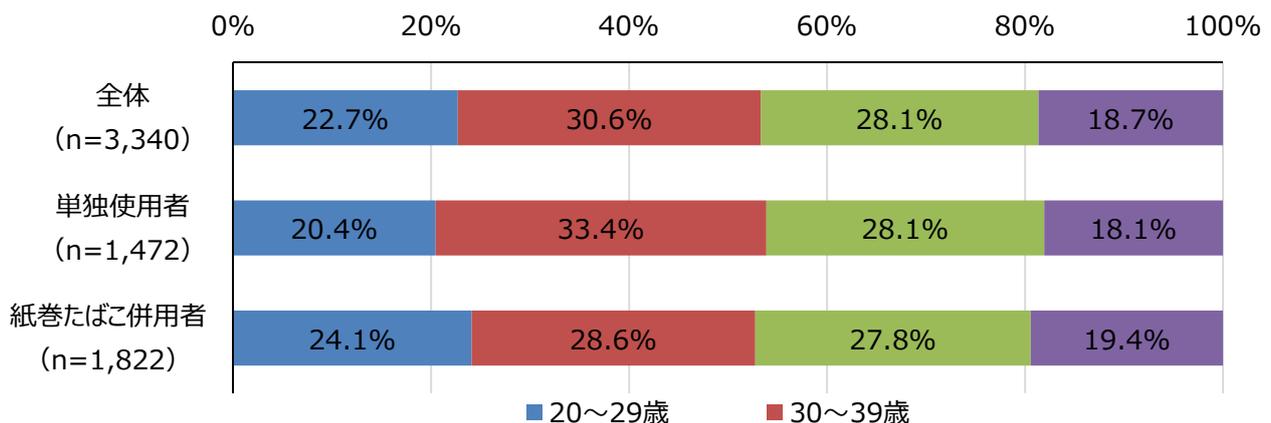
図表5 加熱式たばこ使用者の居住地域<スクリーニング調査結果>

	人数	割合
200万円未満	142	4.3%
200～400万円未満	522	15.6%
400～600万円未満	785	23.5%
600～800万円未満	553	16.6%
800～1,000万円未満	391	11.7%
1,000～1,200万円未満	199	6.0%
1,200～1,500万円未満	112	3.4%
1,500～2,000万円未満	56	1.7%
2,000万円以上	40	1.2%
わからない	184	5.5%
無回答	356	10.7%
全体	3,340	100.0%

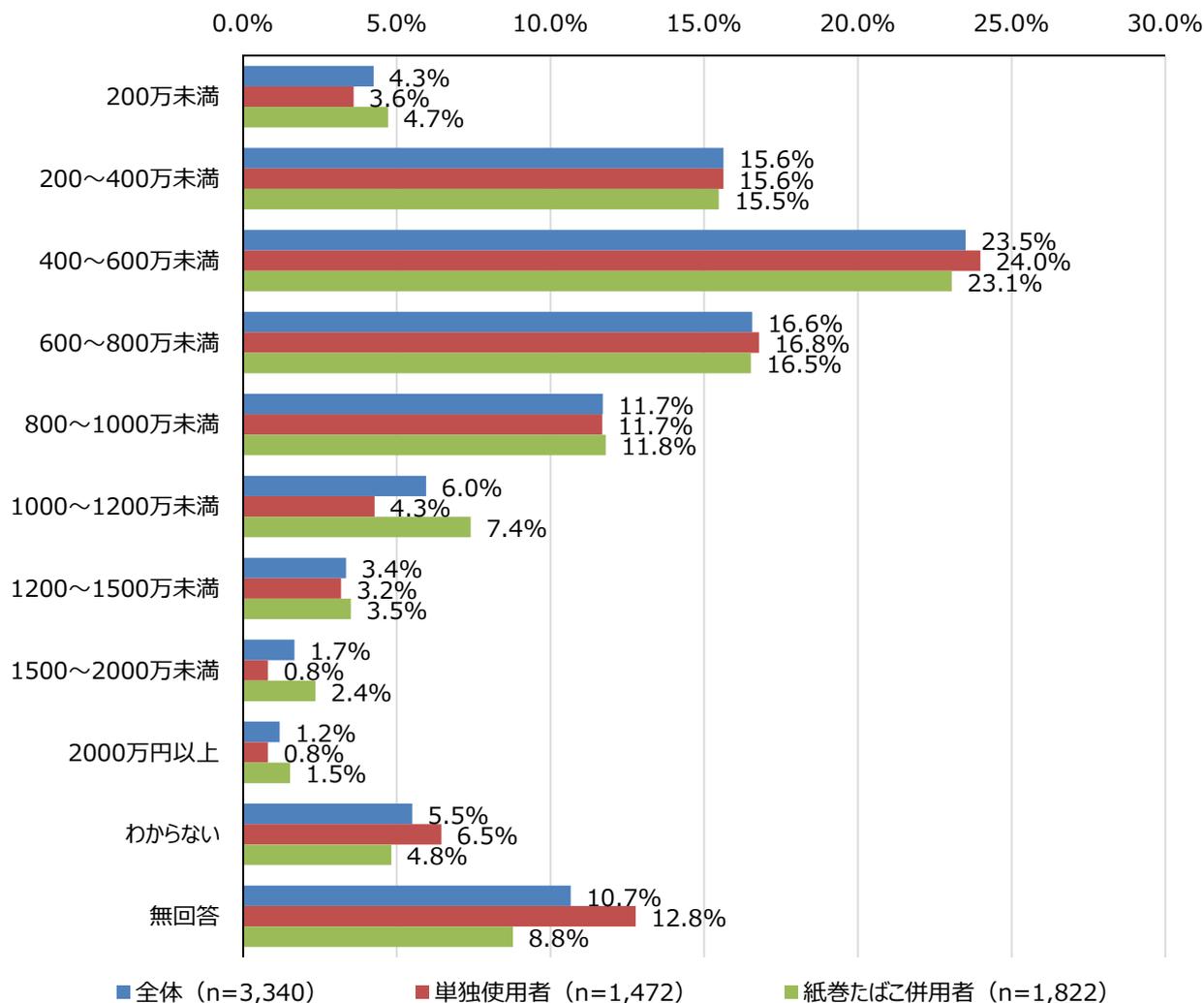
図表6 加熱式たばこ使用者の世帯年収<スクリーニング調査結果>



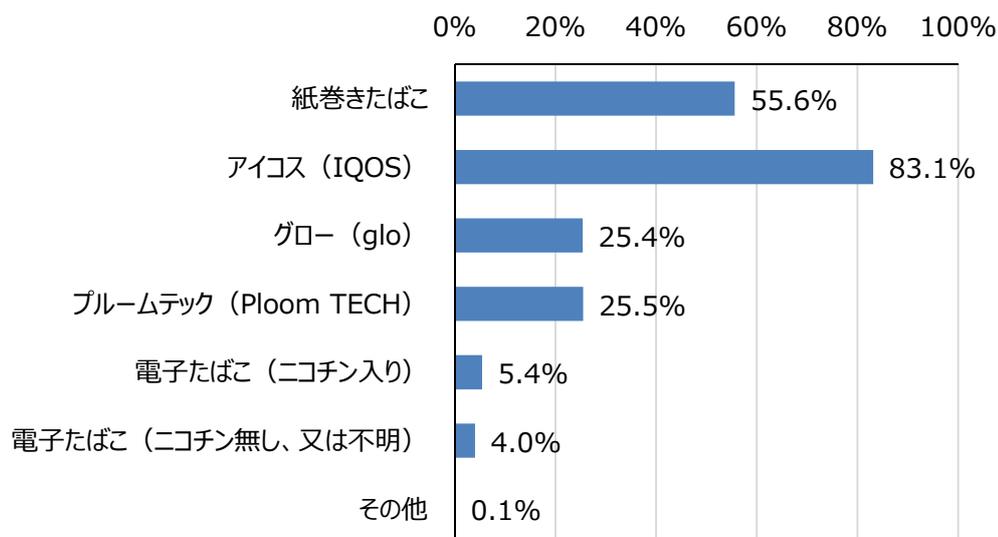
図表7 加熱式たばこ使用者の性別<スクリーニング調査結果>



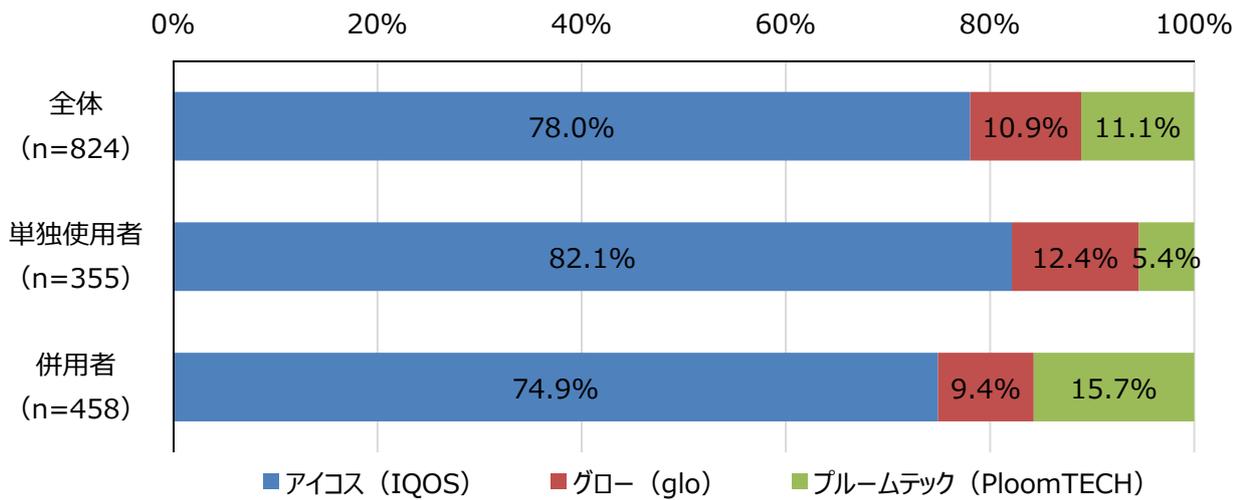
図表8 加熱式たばこ使用者の年齢<スクリーニング調査結果>



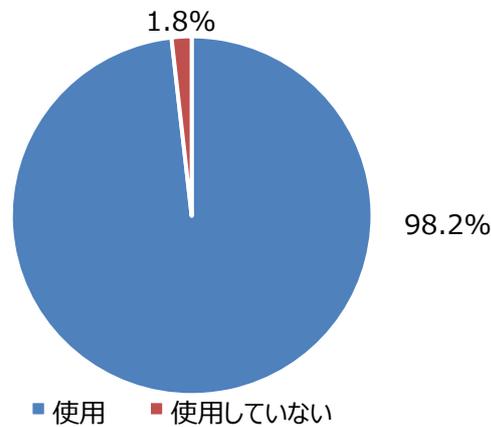
図表 9 加熱式たばこ使用者の世帯別年収<スクリーニング調査結果>



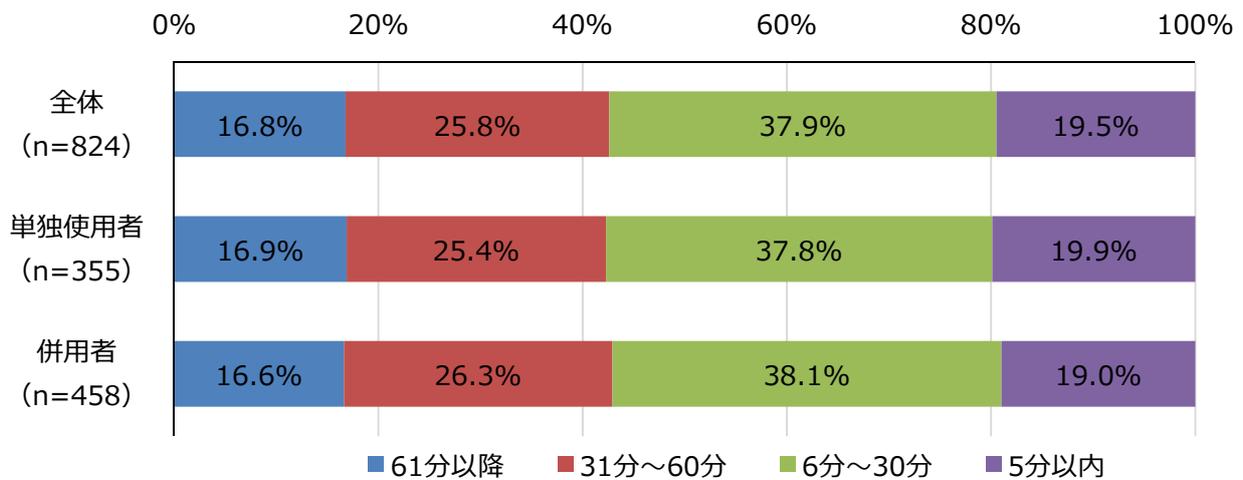
図表 10 使用しているたばこの種類 (n=824、WB) (複数回答)



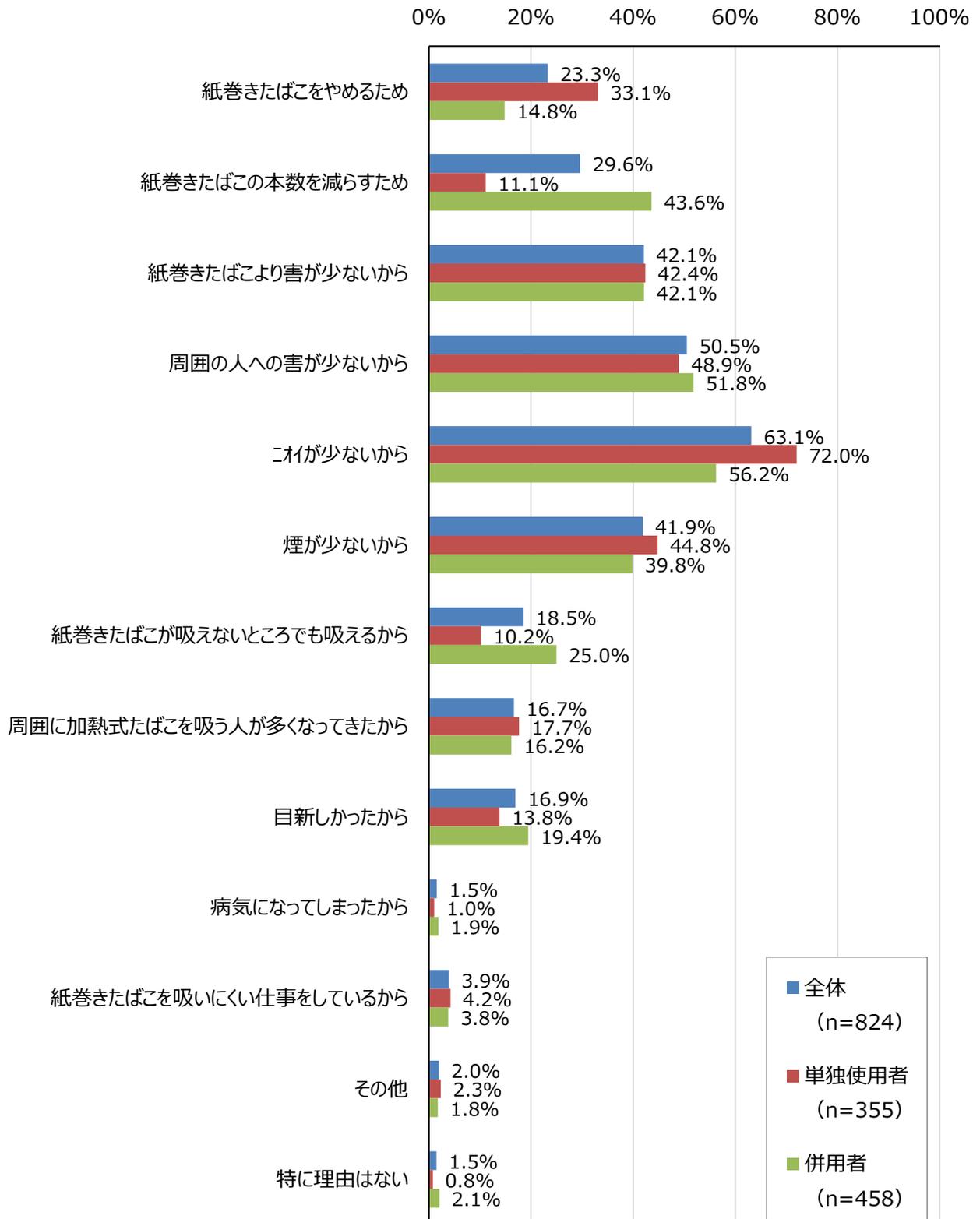
図表 1 1 もっともよく使用している加熱式たばこの種類 (n=824、WB)



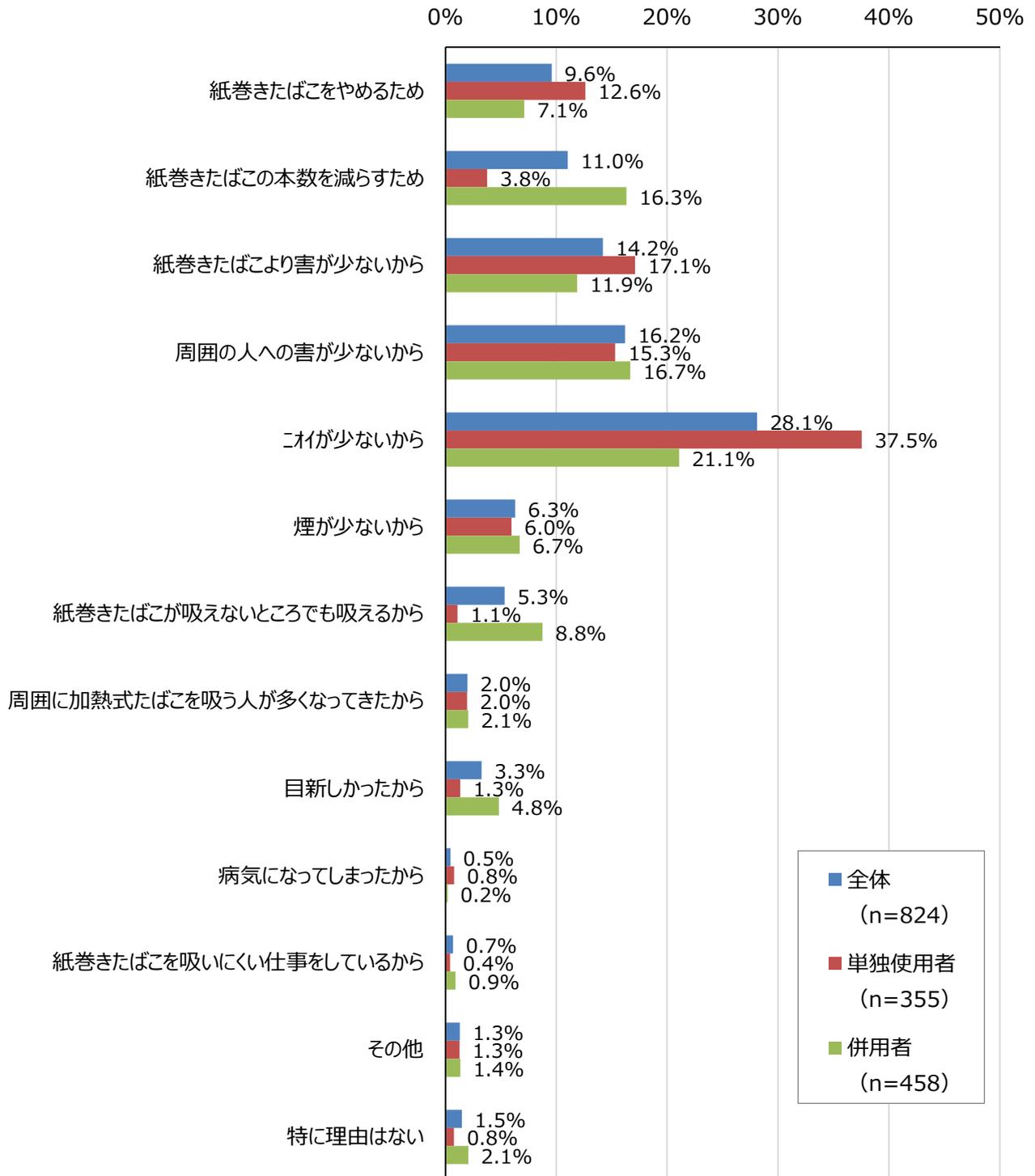
図表 1 2 加熱式たばこの使用前の紙巻たばこ使用状況 (n=824、WB)



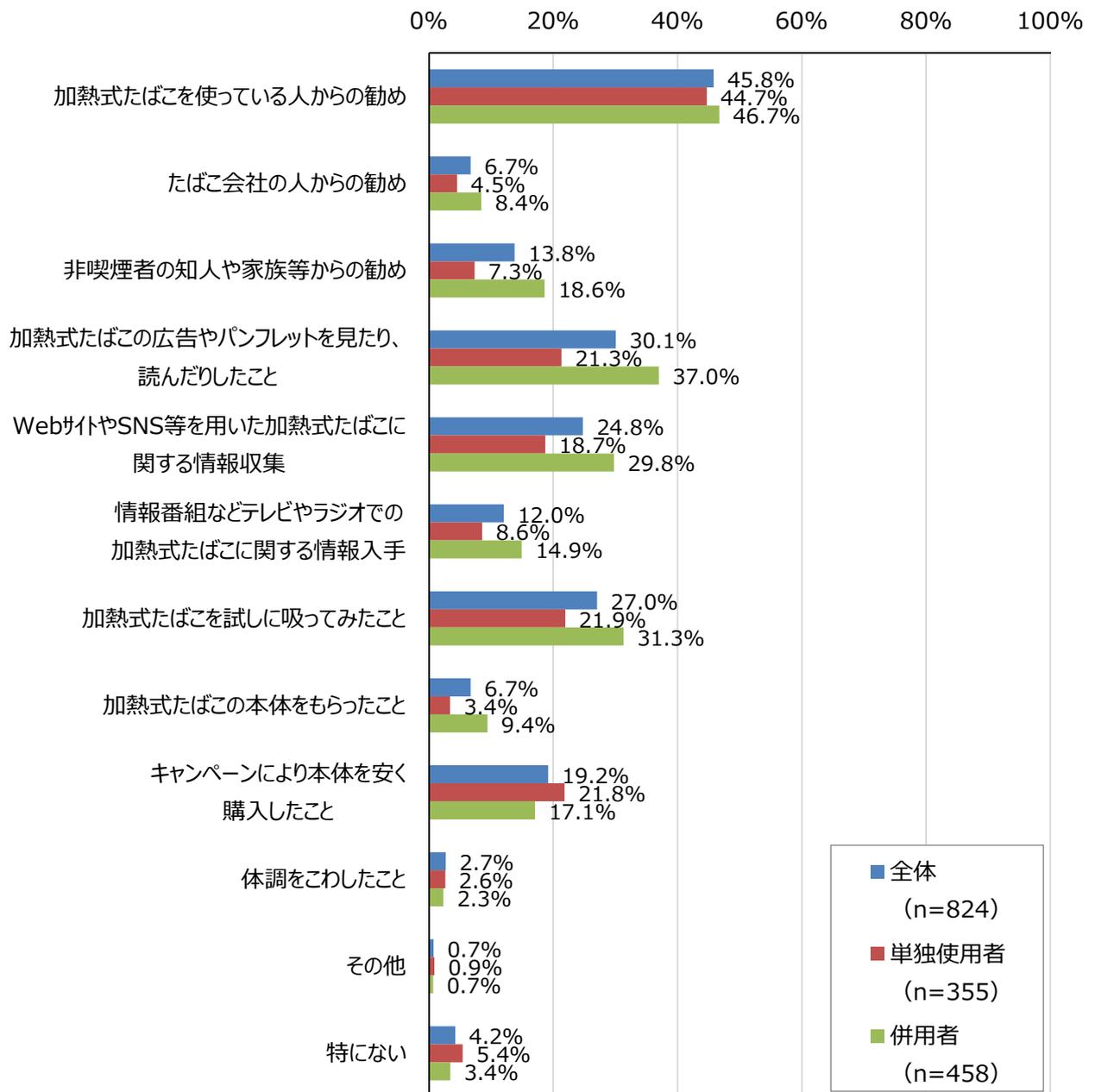
図表 1 3 朝、目が覚めてから最初にたばこを吸うまでの時間 (n=824、WB)



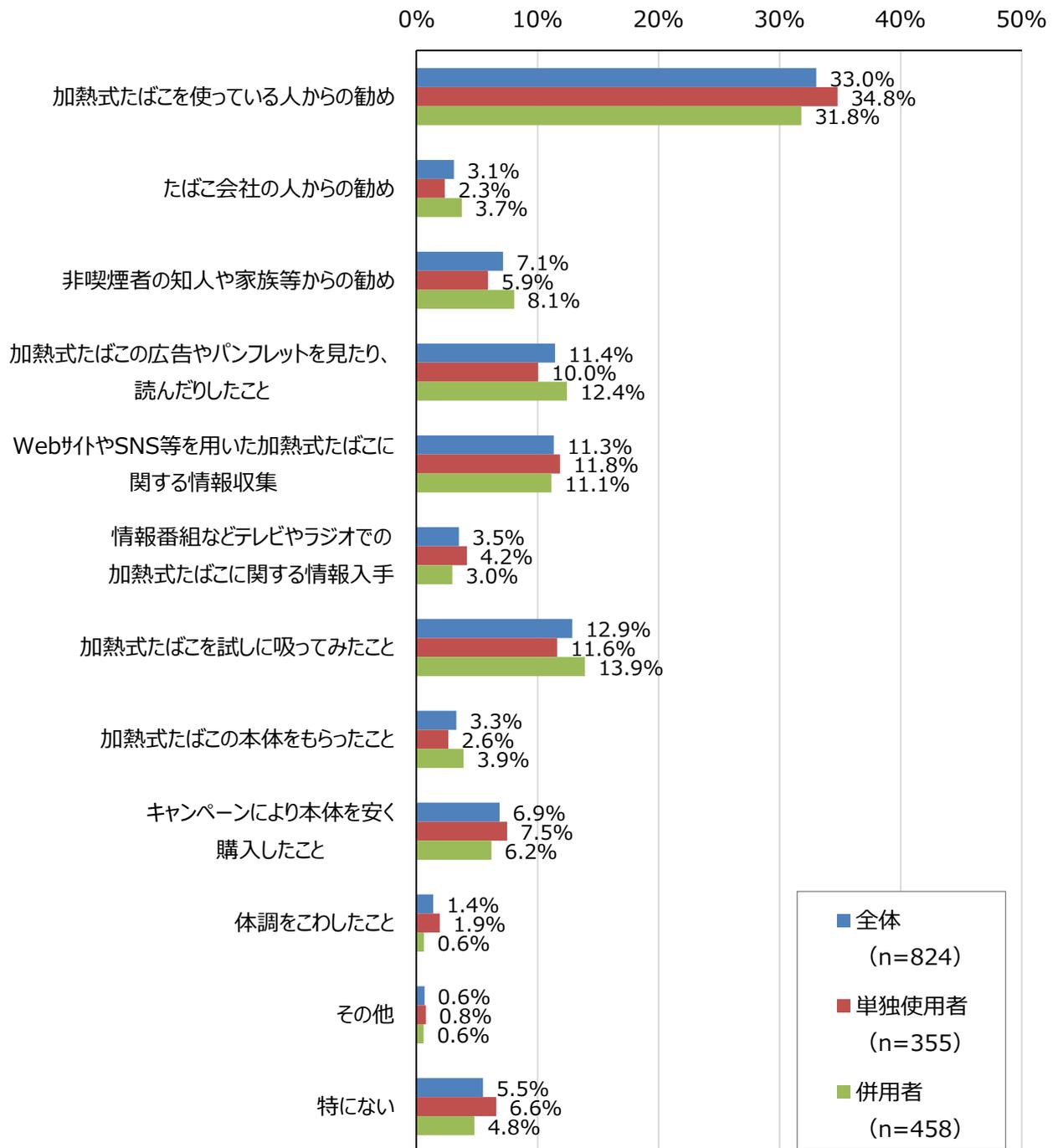
図表 1 4 加熱式たばこを使い始めた理由 (n=824、WB) (複数回答)



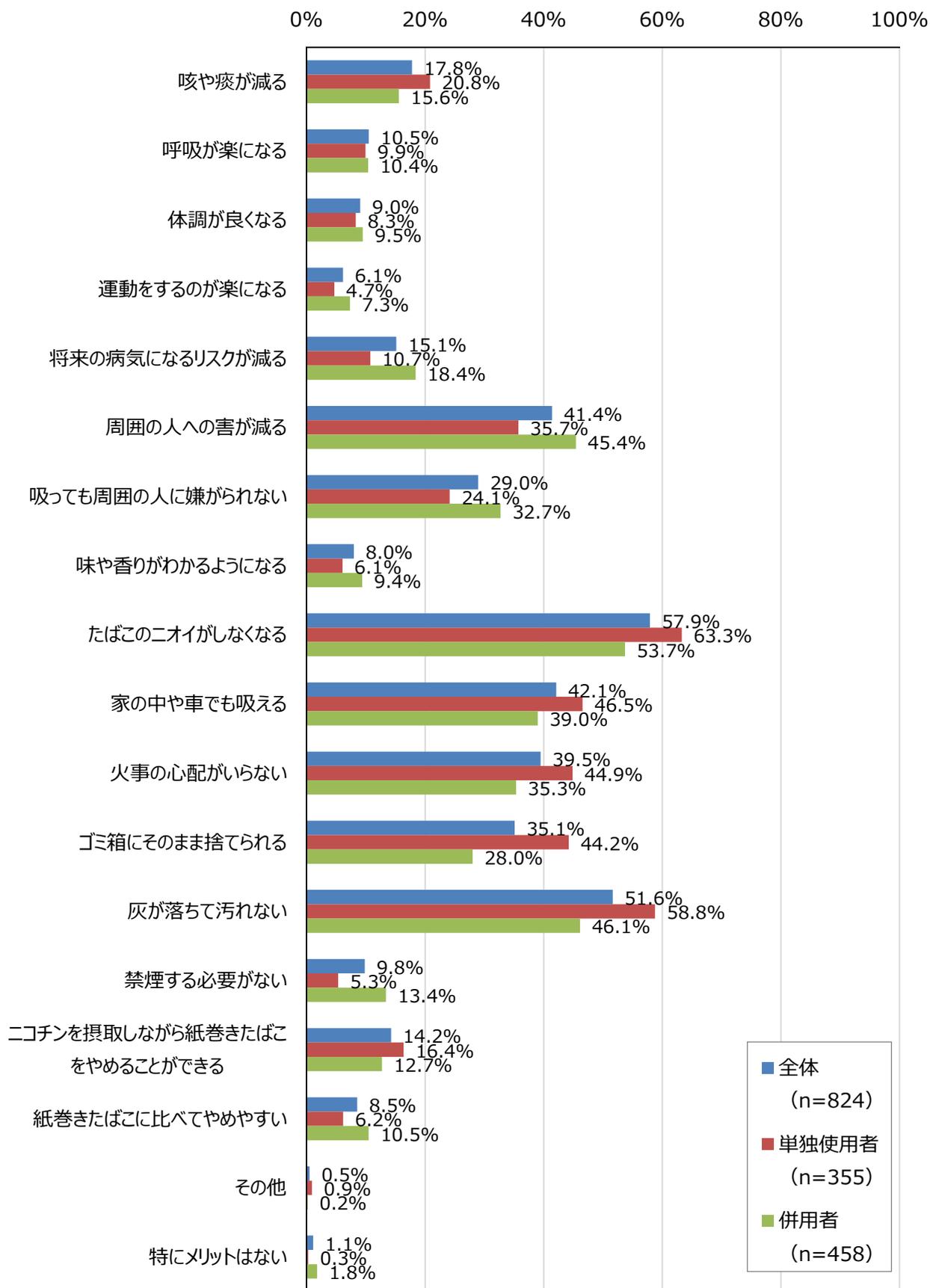
図表 15 加熱式タバコを使い始めた最大の理由 (n=824、WB) (単数回答)



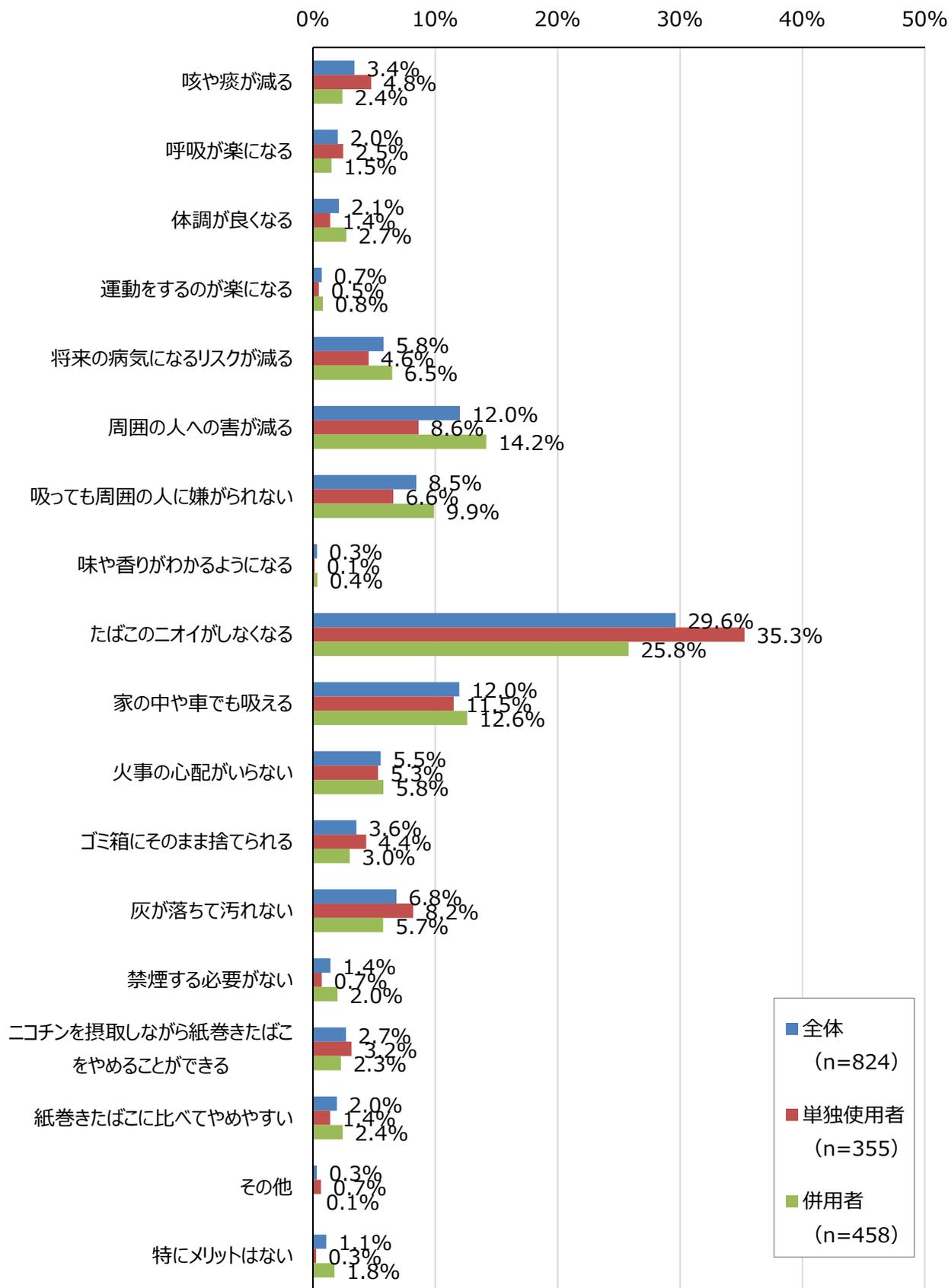
図表 1 6 加熱式たばこを習慣的に使い始めるまでに経験したこと (n=824、WB) (複数回答)



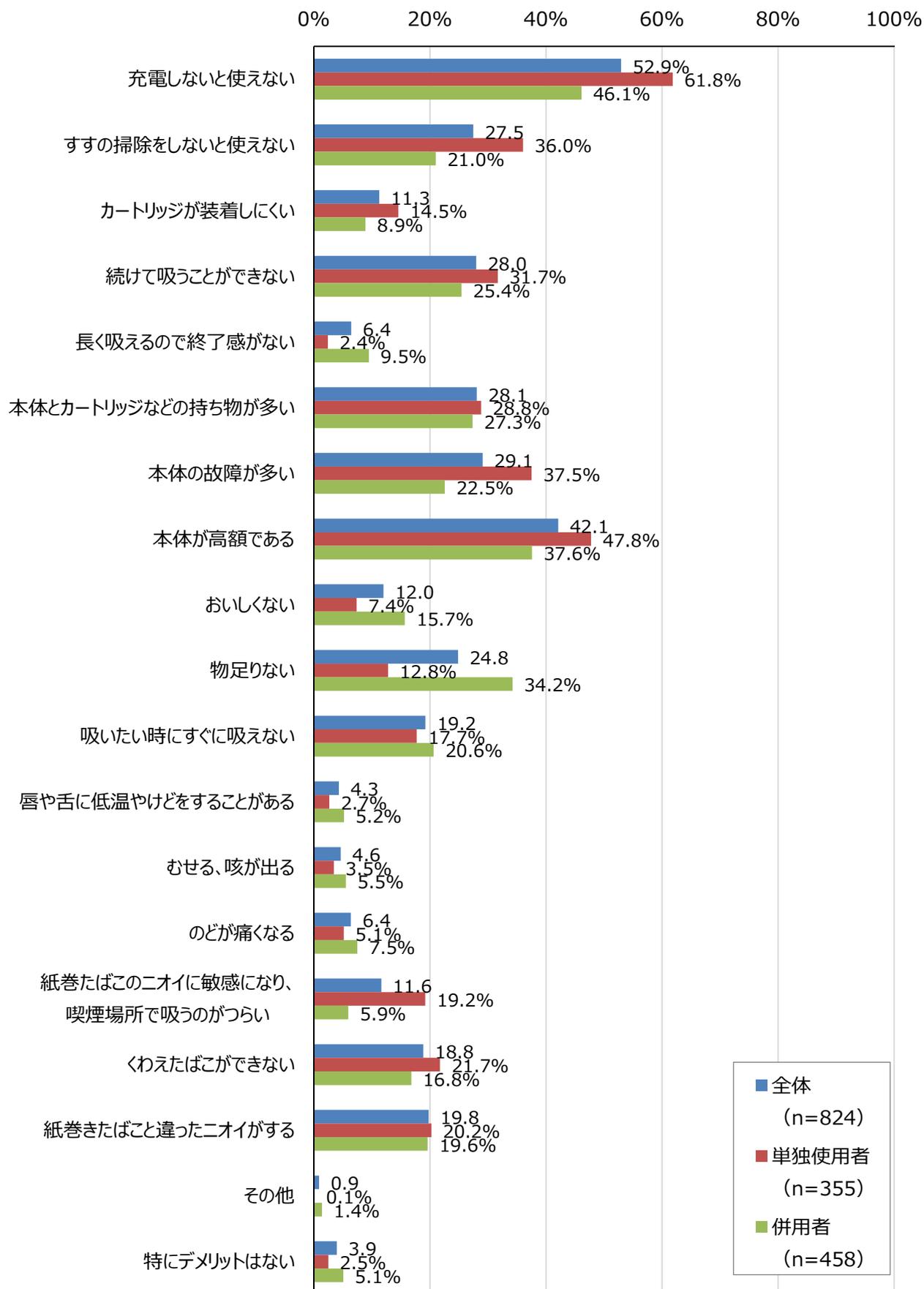
図表 17 加熱式たばこを使い始めたきっかけ (n=824、WB) (単数回答)



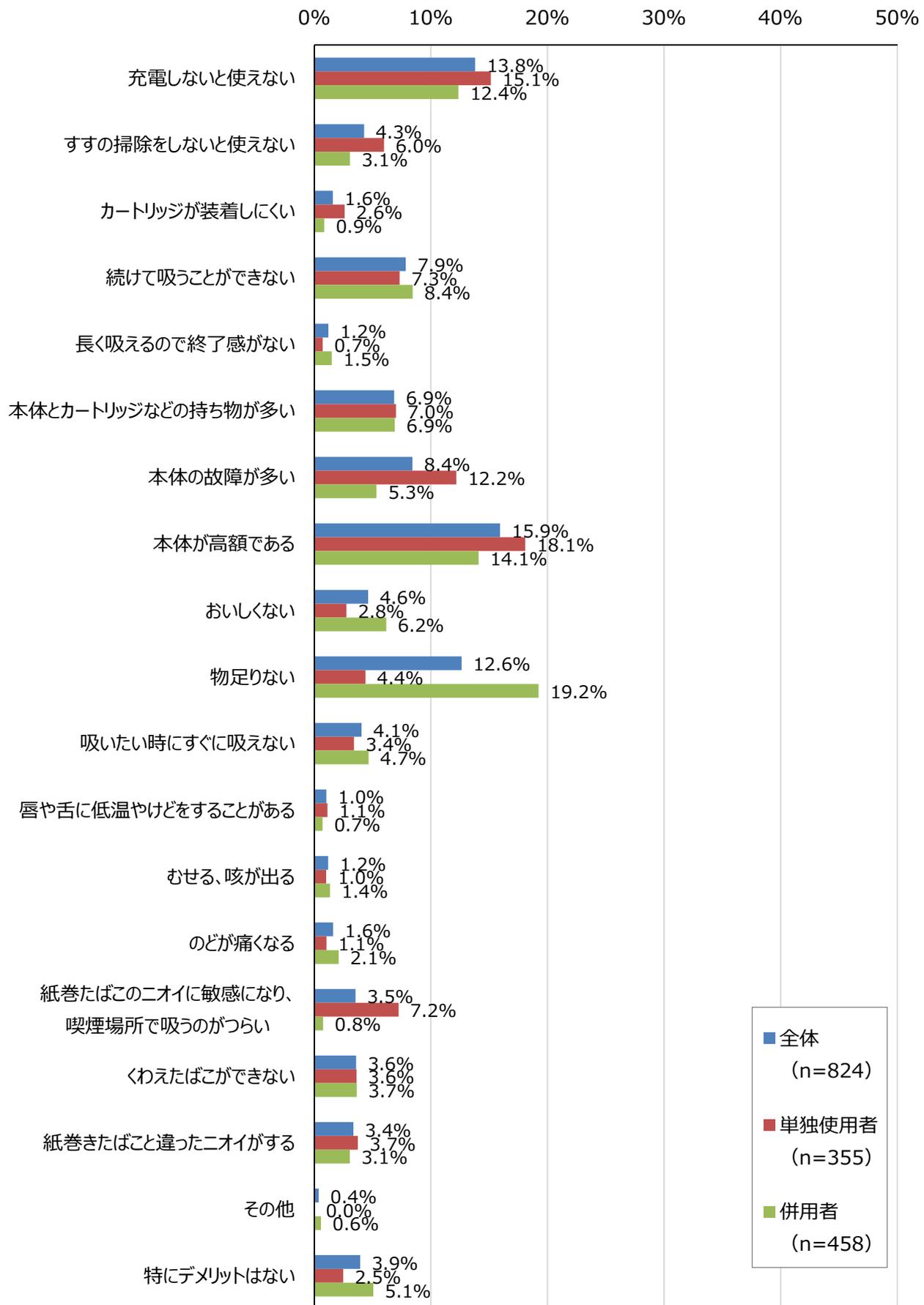
図表 18 加熱式たばこのメリット (n=824、WB) (複数回答)



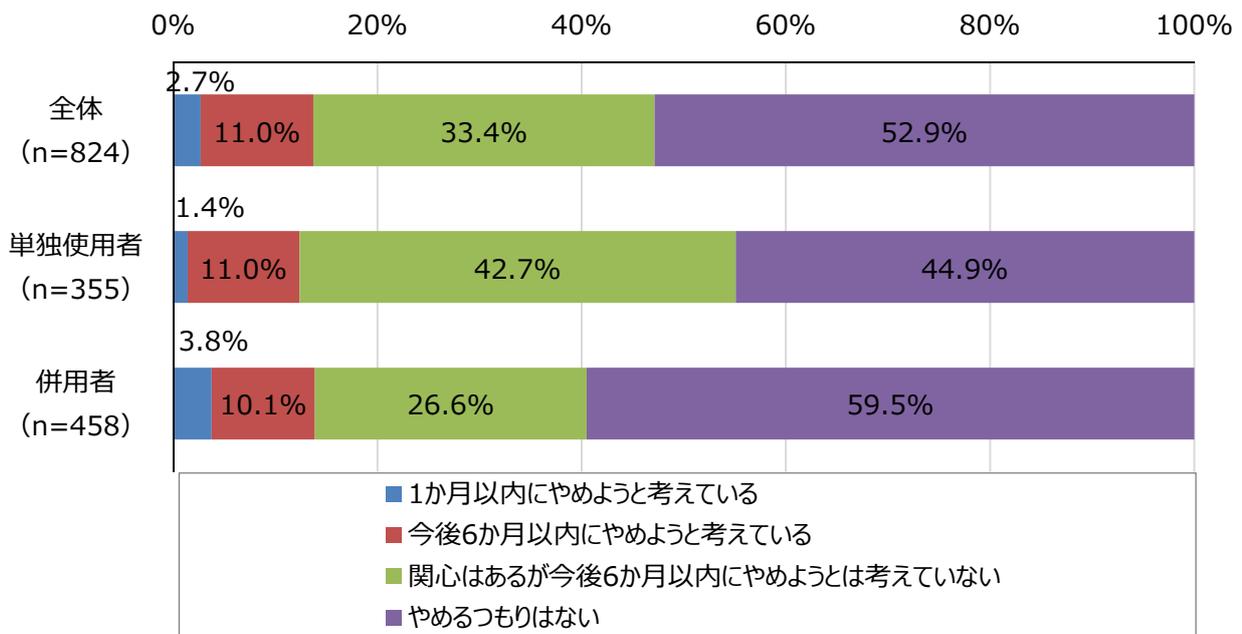
図表 1 9 加熱式たばこの最大のメリット (n=824、WB) (単数回答)



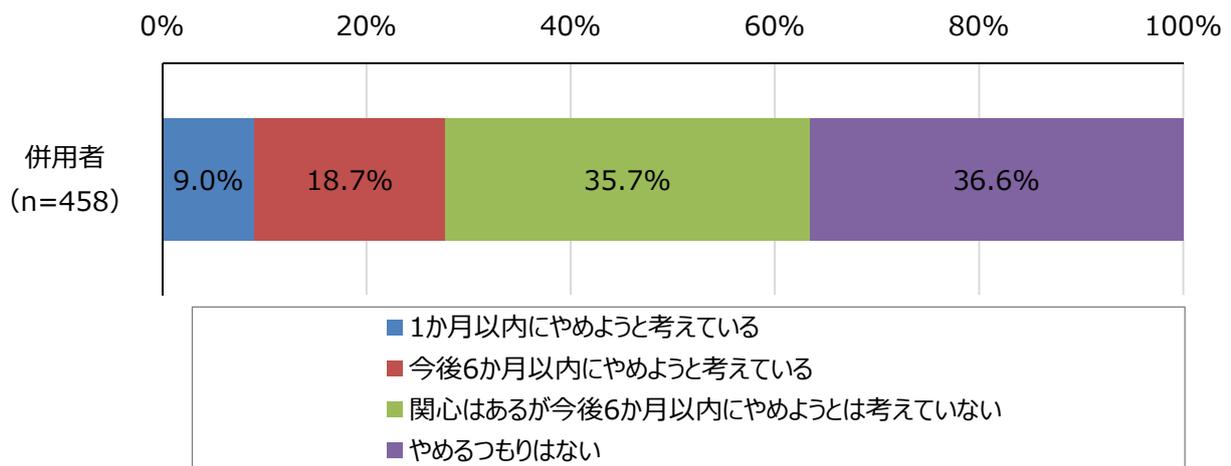
図表 20 加熱式たばこのデメリット (n=824、WB) (複数回答)



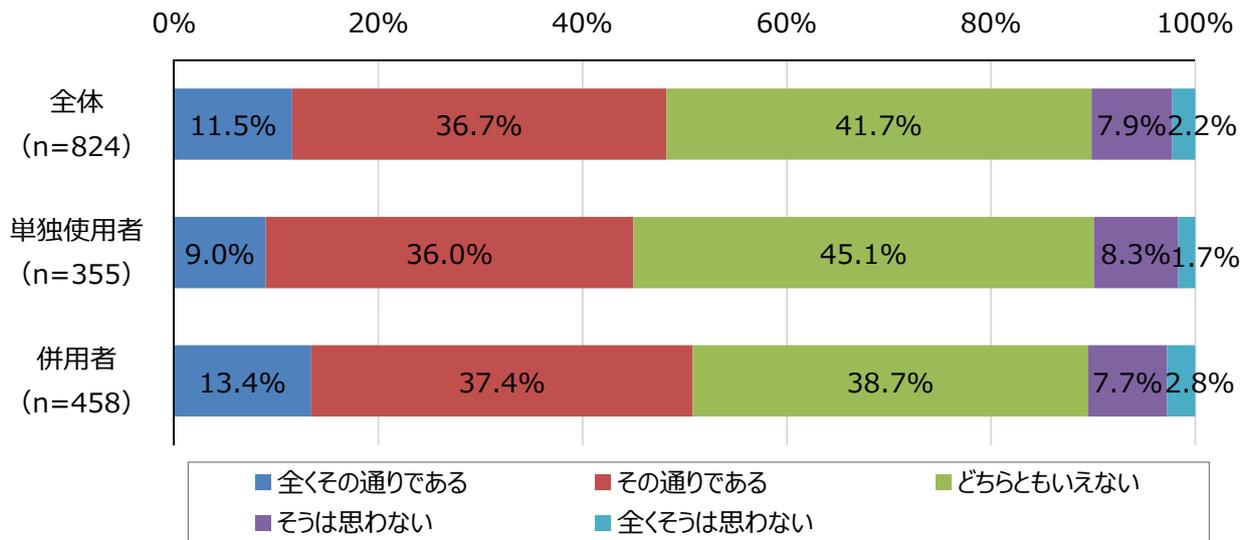
図表 2 1 加熱式たばこの最大のデメリット (n=824、WB) (単数回答)



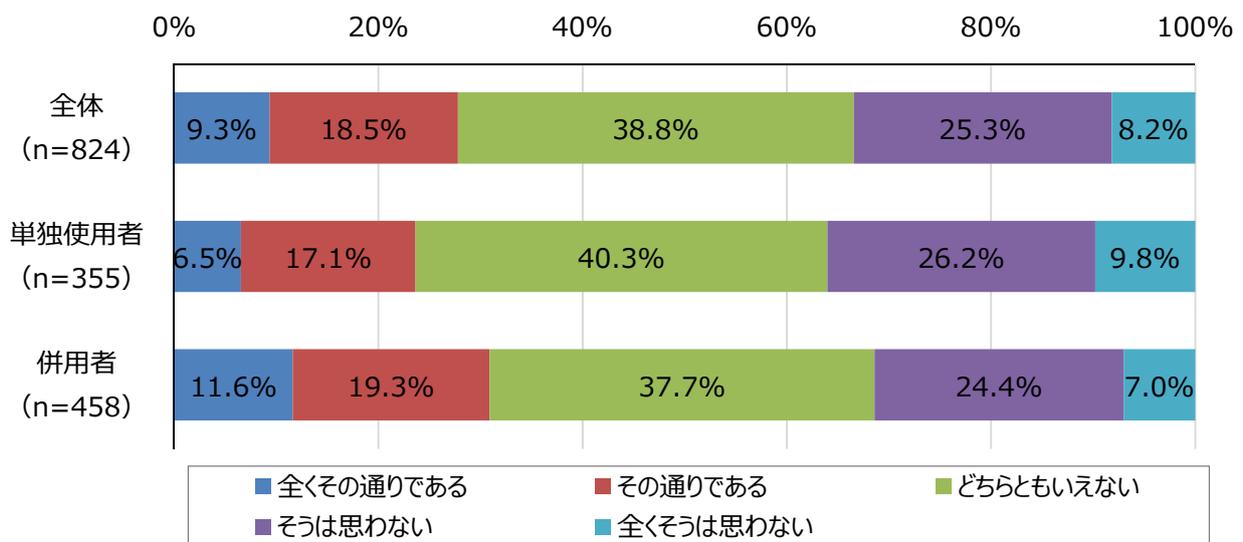
図表 2 2 加熱式たばこをやめることについての関心 (n=824、WB) (単数回答)



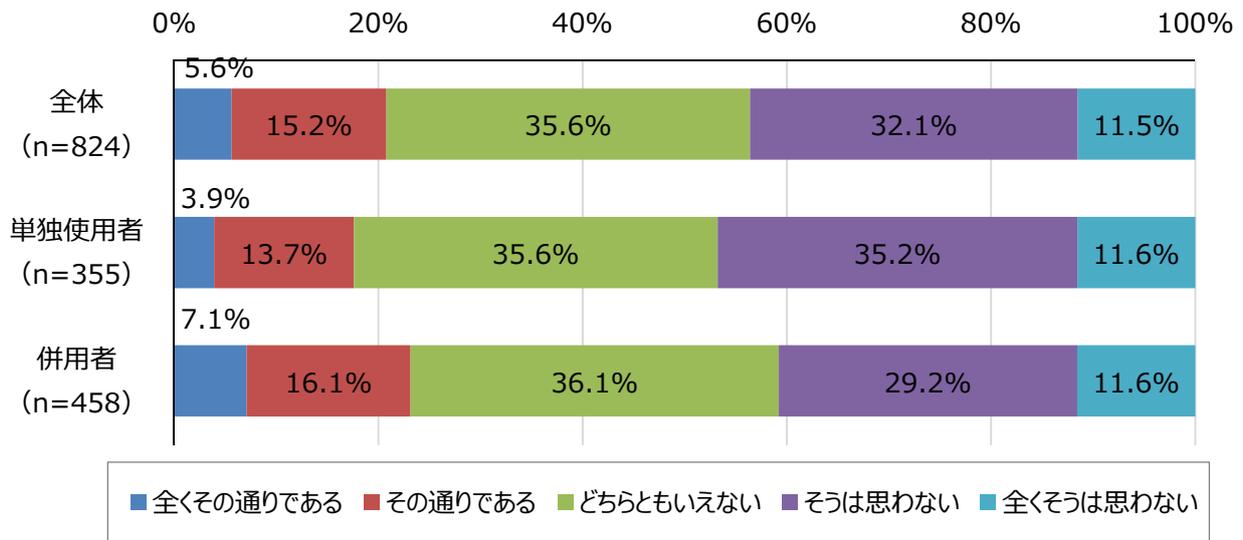
図表 2 3 紙巻たばこをやめることについての関心 (併用者、n=458、WB) (単数回答)



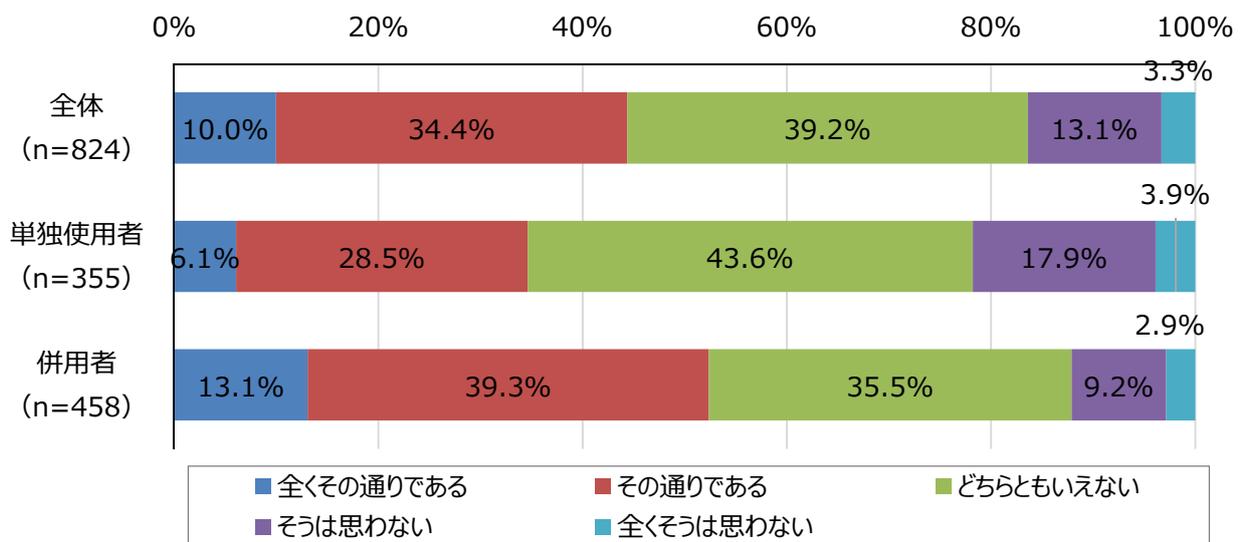
図表 2 4 「加熱式たばこは、紙巻たばこに比べて有害物質を 90%カットしている」
(n=824、WB)



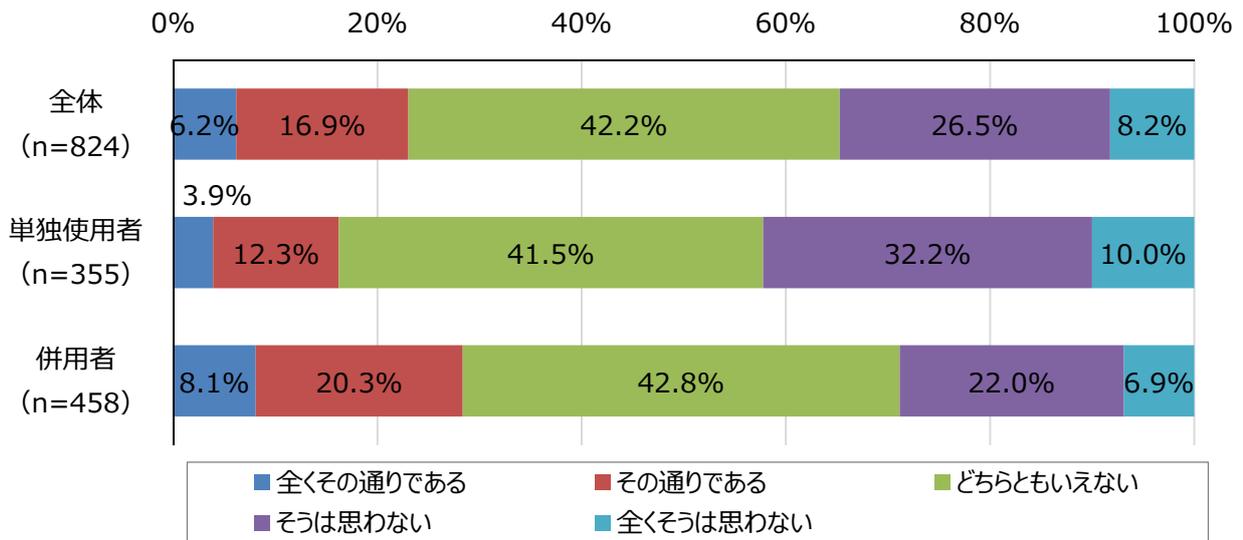
図表 2 5 「加熱式たばこは、紙巻たばこに比べて有害成分を90%カットしているのので、病気になる危険性も90%減らすことができる」(n=824、WB)



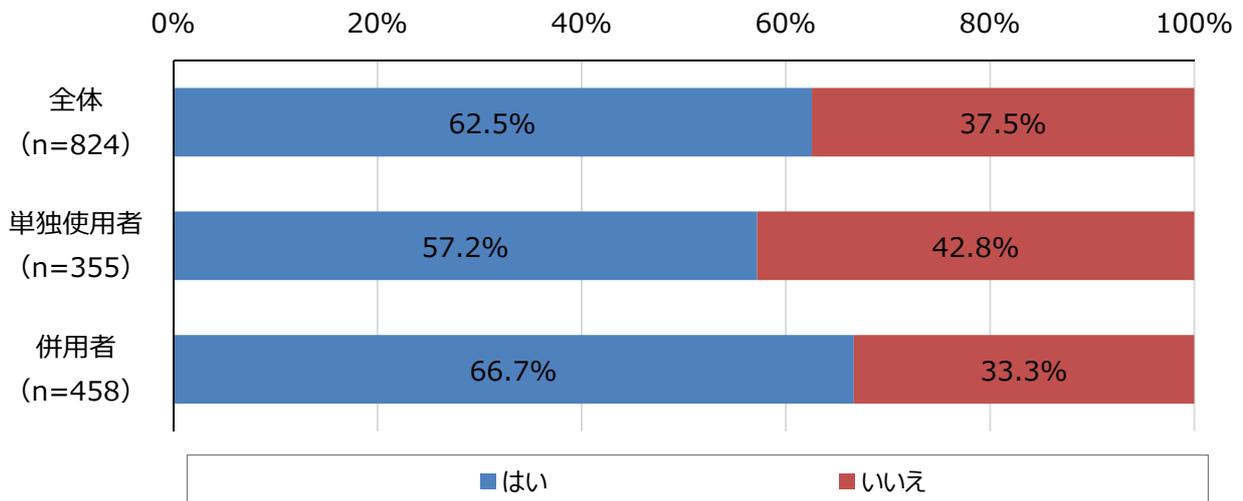
図表 2 6 「加熱式タバコには、タールが含まれていないので、がんにはならない」
(n=824、WB)



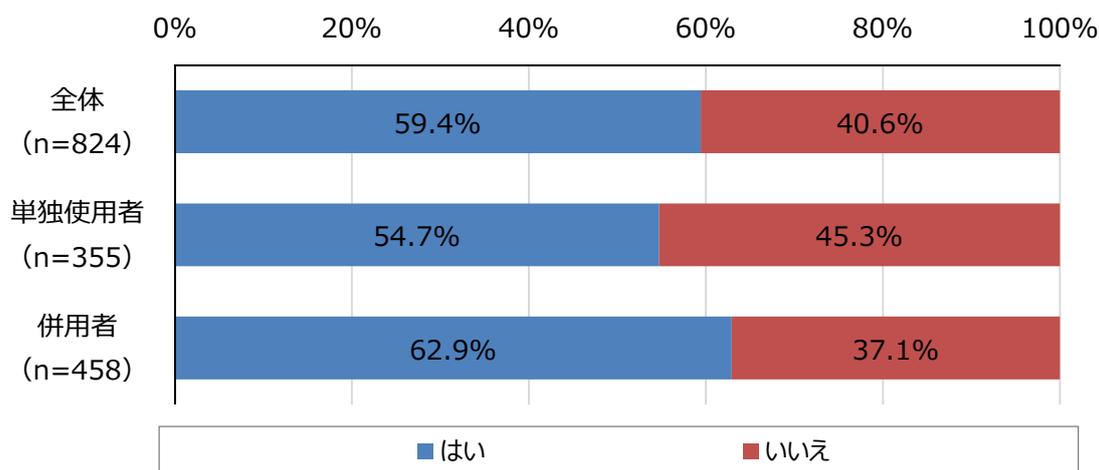
図表 2 7 「加熱式タバコを使用している人は、自分の健康や周囲の健康に配慮できる進歩的な喫煙者である」 (n=824、WB)



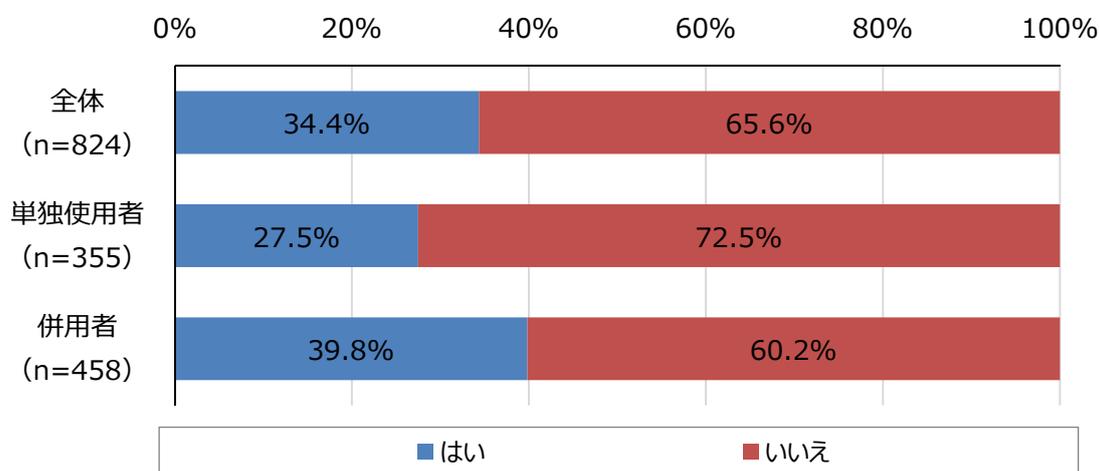
図表 2 8 「加熱式たばこは害が少ないのでやめる必要はない」(n=824、WB)



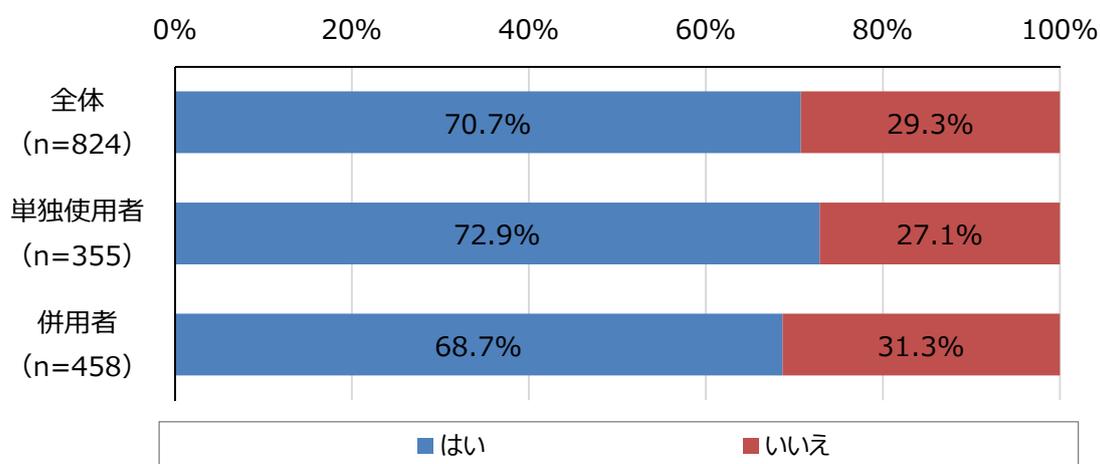
図表 2 9 「アイコスではたばこの煙が出ない、部屋の空気を汚さない」といった内容の広告を見たことがある (n=824、WB)



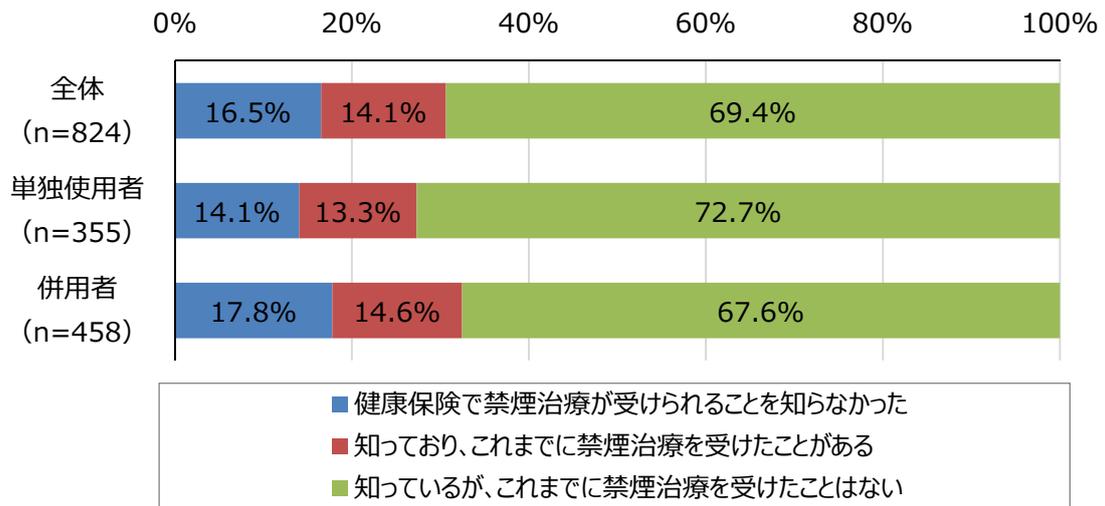
図表 3 0 「アイコスは有害性成分が少ない、紙巻タバコと比べて有害成分が約 90%カット」といった内容の広告を見たことがある (n=824、WB)



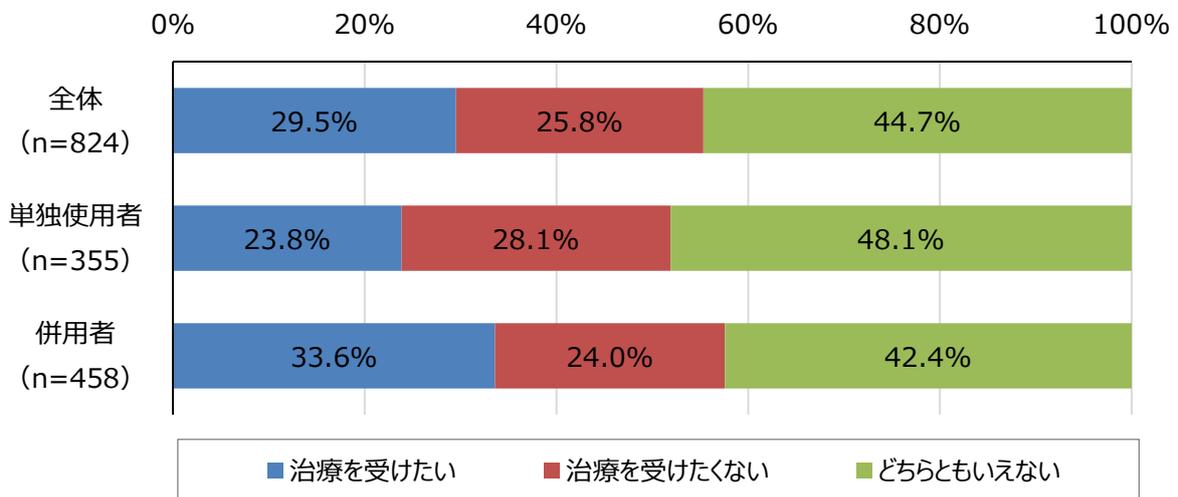
図表 3 1 たばこ会社の人から加熱式たばこの製品説明を受けたり、無料で試し吸いができるかと誘われた経験の有無 (n=824、WB)



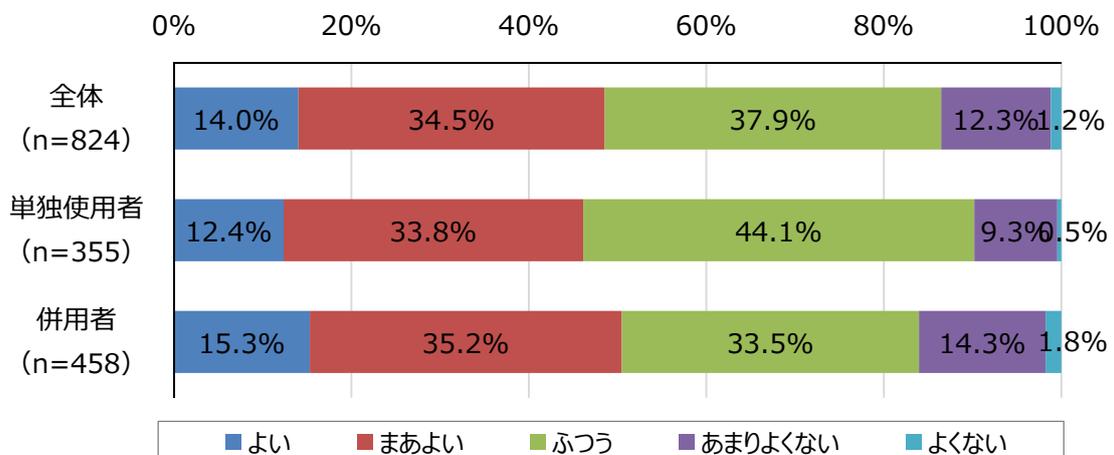
図表 3 2 ニコチン依存症と思うか (n=824、WB)



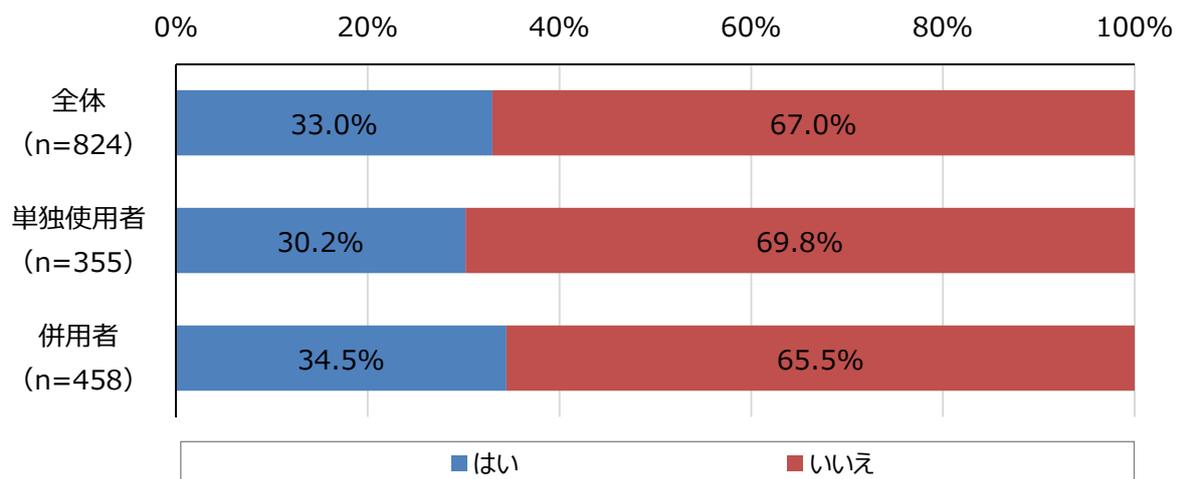
図表 3 3 健康保険を用いた医療機関での禁煙治療についての認知状況 (n=824、WB)



図表 3 4 健康保険を用いた医療機関での禁煙治療について受診意向 (n=824、WB)



図表 3 5 現在の健康状態 (n=824、WB)



図表 3 6 紙巻たばこだけを吸っている場合と比べて、加熱式たばこを吸っていることでの優越感の有無 (n=824、WB)